

[参考・1月（確報）]  
外食及び  
生活関連物資等の値上げ等  
に関する意識調査結果

令和4年2月16日（水）



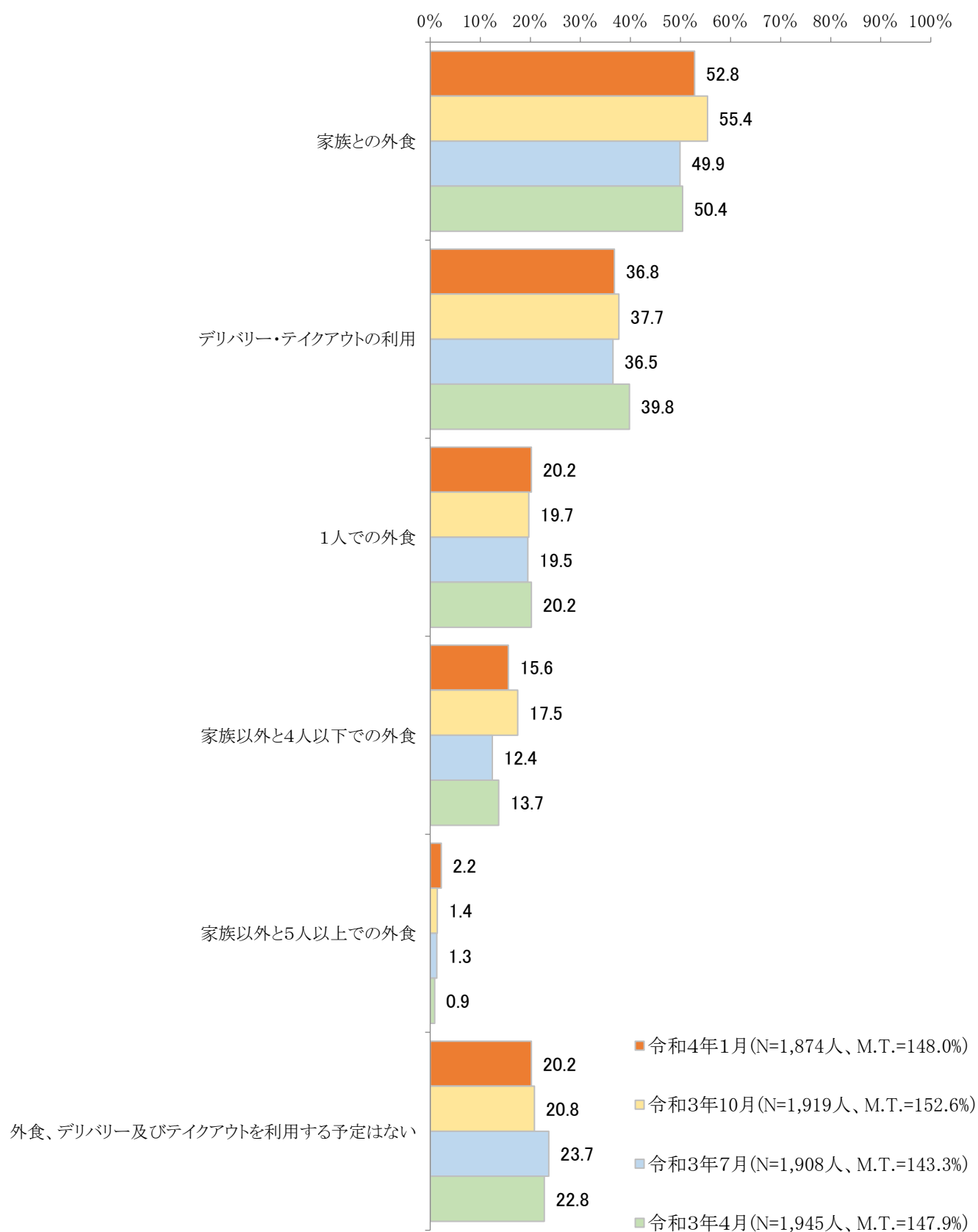
消費者庁

Consumer Affairs Agency, Government of Japan

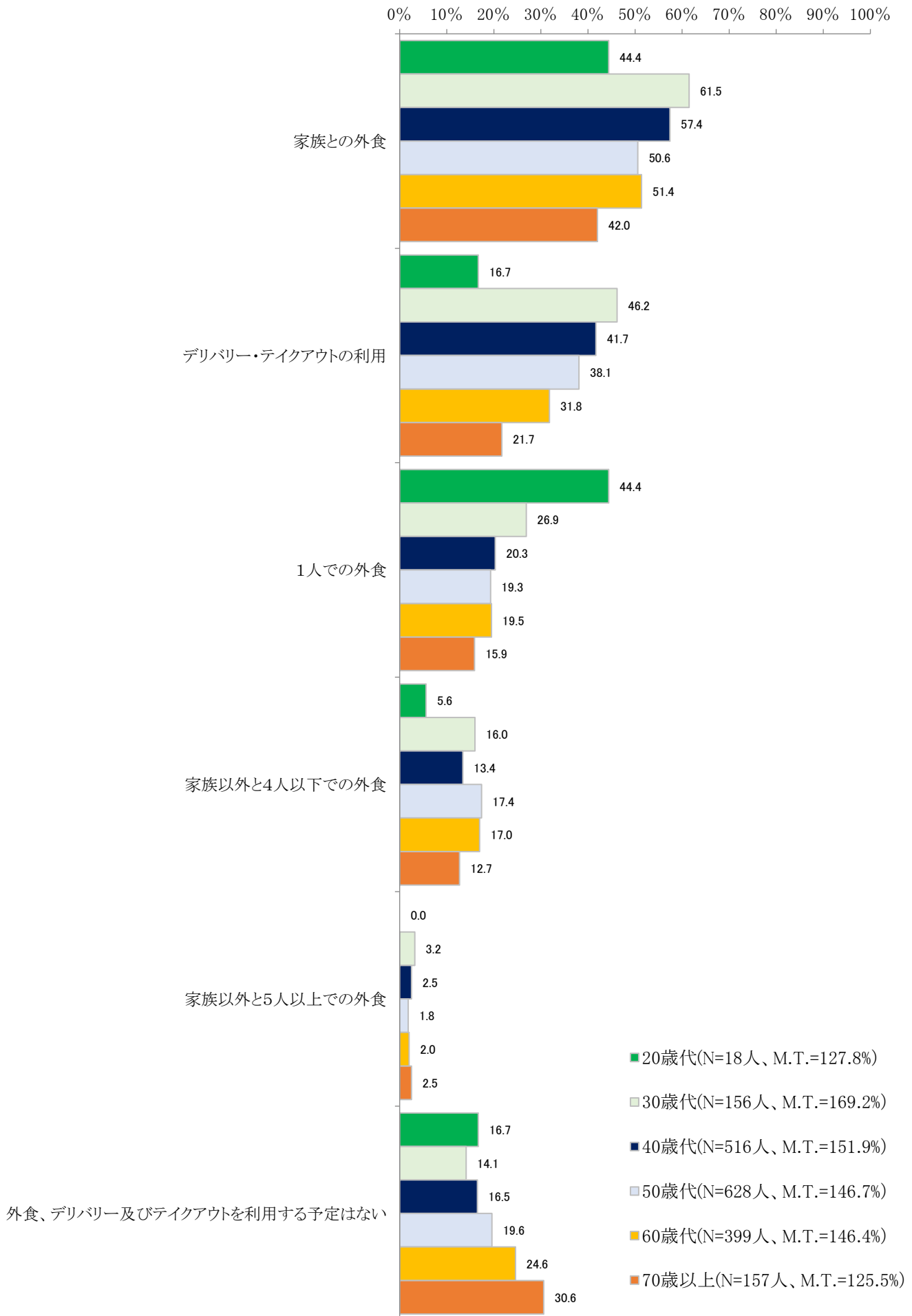
## 1. 意識調査結果

問1 外食、テイクアウト及びデリバリーについて伺います。次のうちあなたは今後1か月程度の間どのような場面で外食(※)、テイクアウト又はデリバリーを利用する予定ですか。該当するものを全て選んでください。

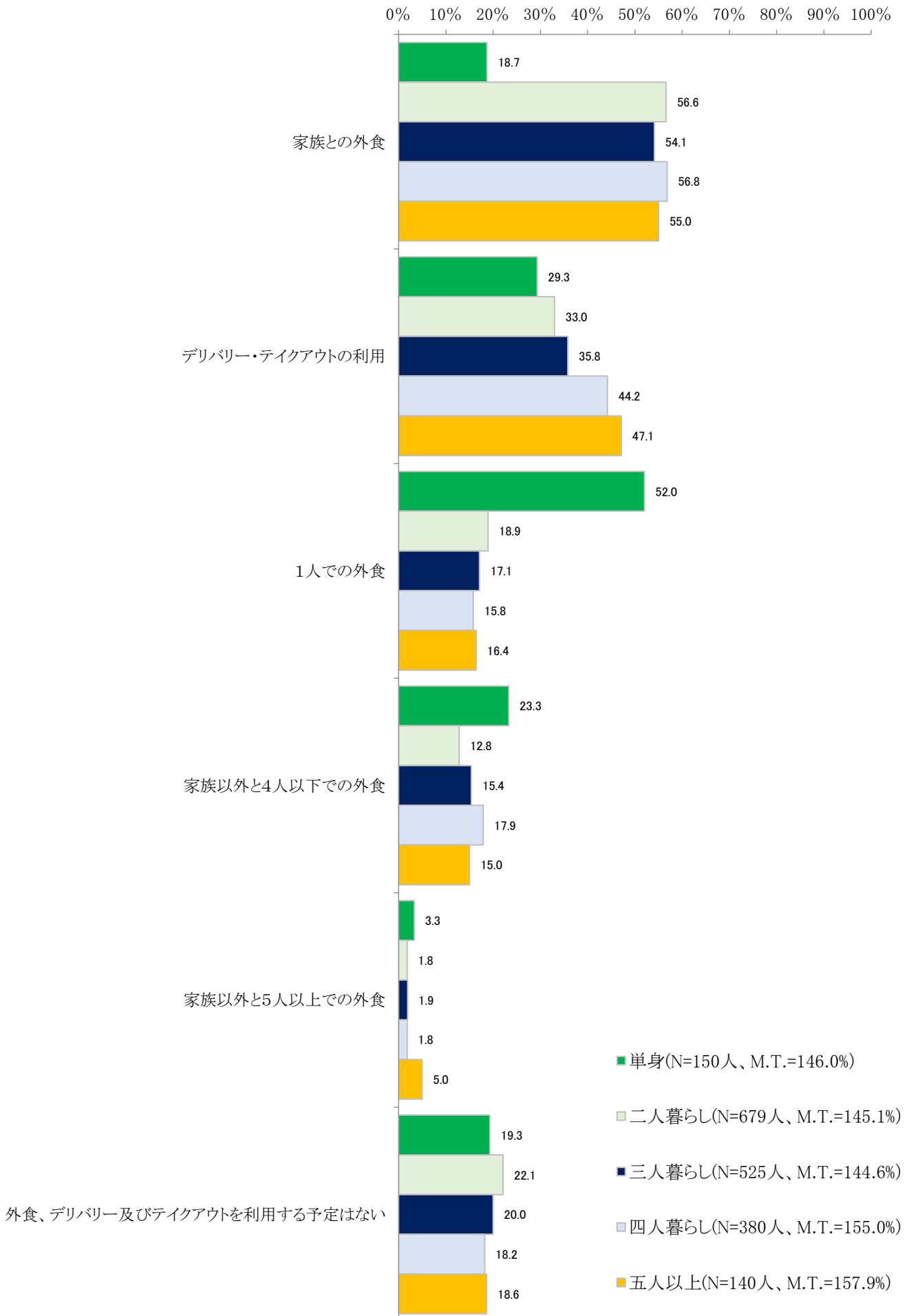
(※) 食堂・レストラン、喫茶店、ファーストフード店等を含む飲食店の店舗での飲食



<年代別>

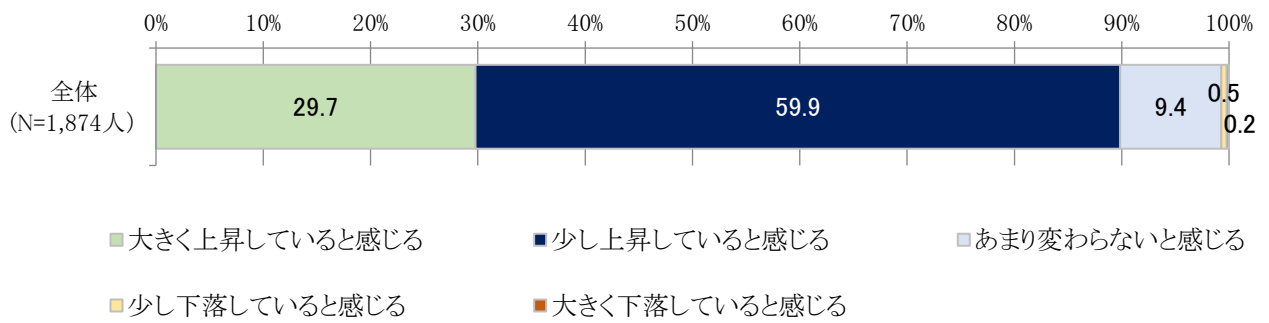


<居住形態別>

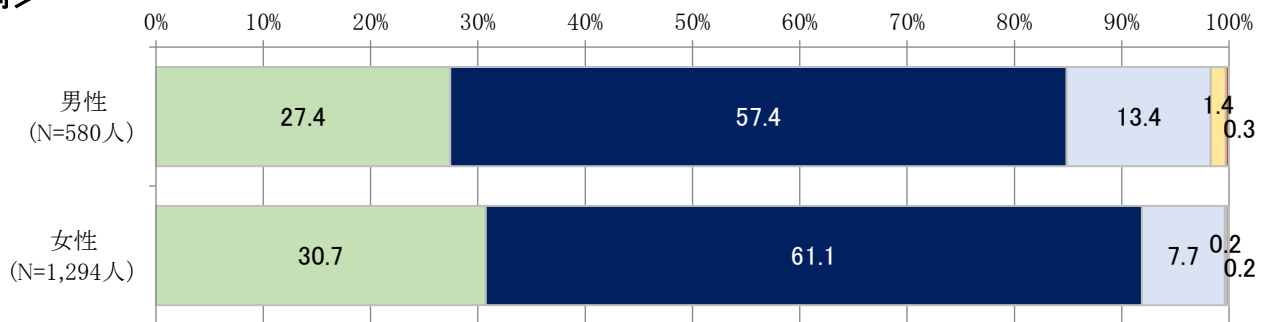


食品等の生活関連物資等の価格、あるいはその値上げに関するあなたの意識についてお伺いします。

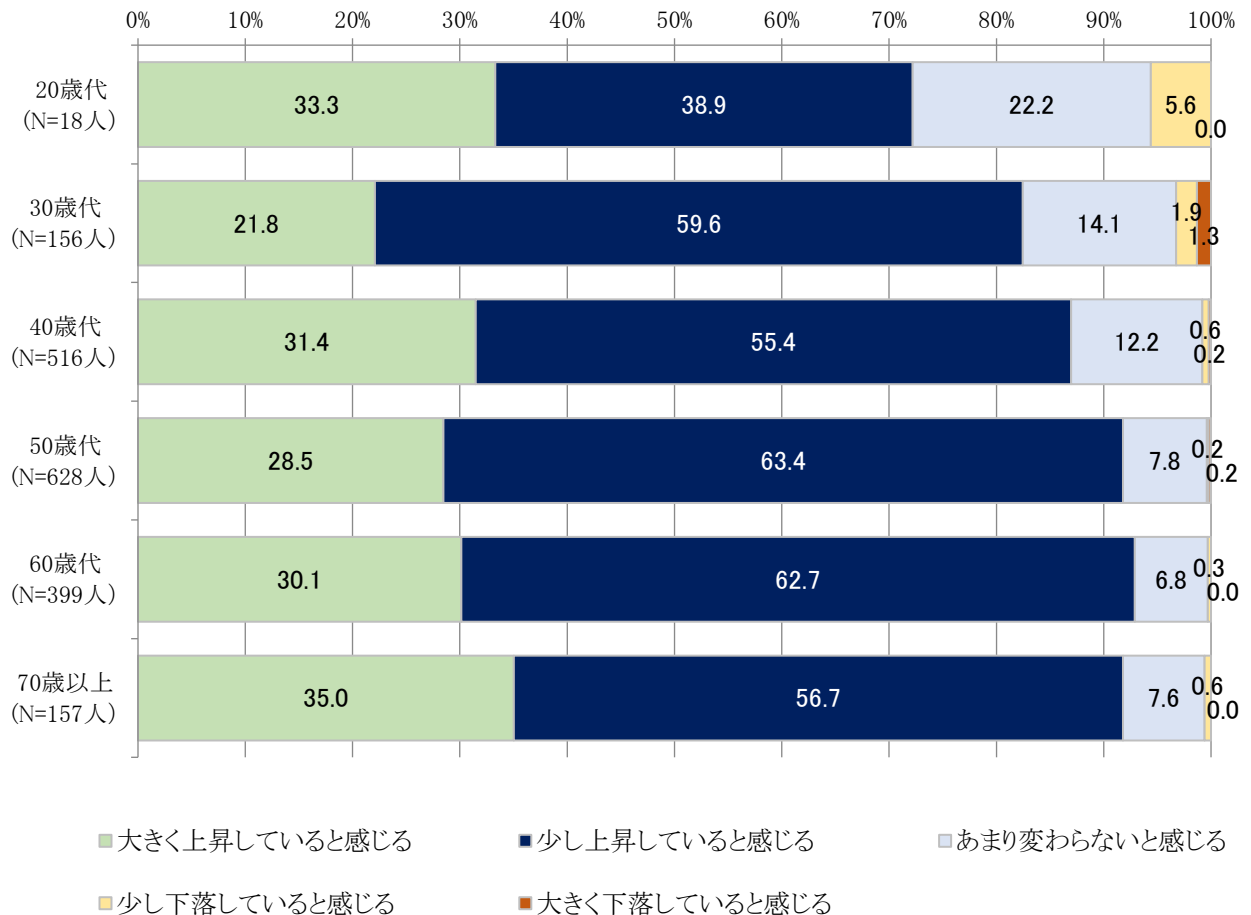
問2 昨今の食品等の生活関連物資等の価格について、あなたの感想に最も近いものを1つ選んでください。



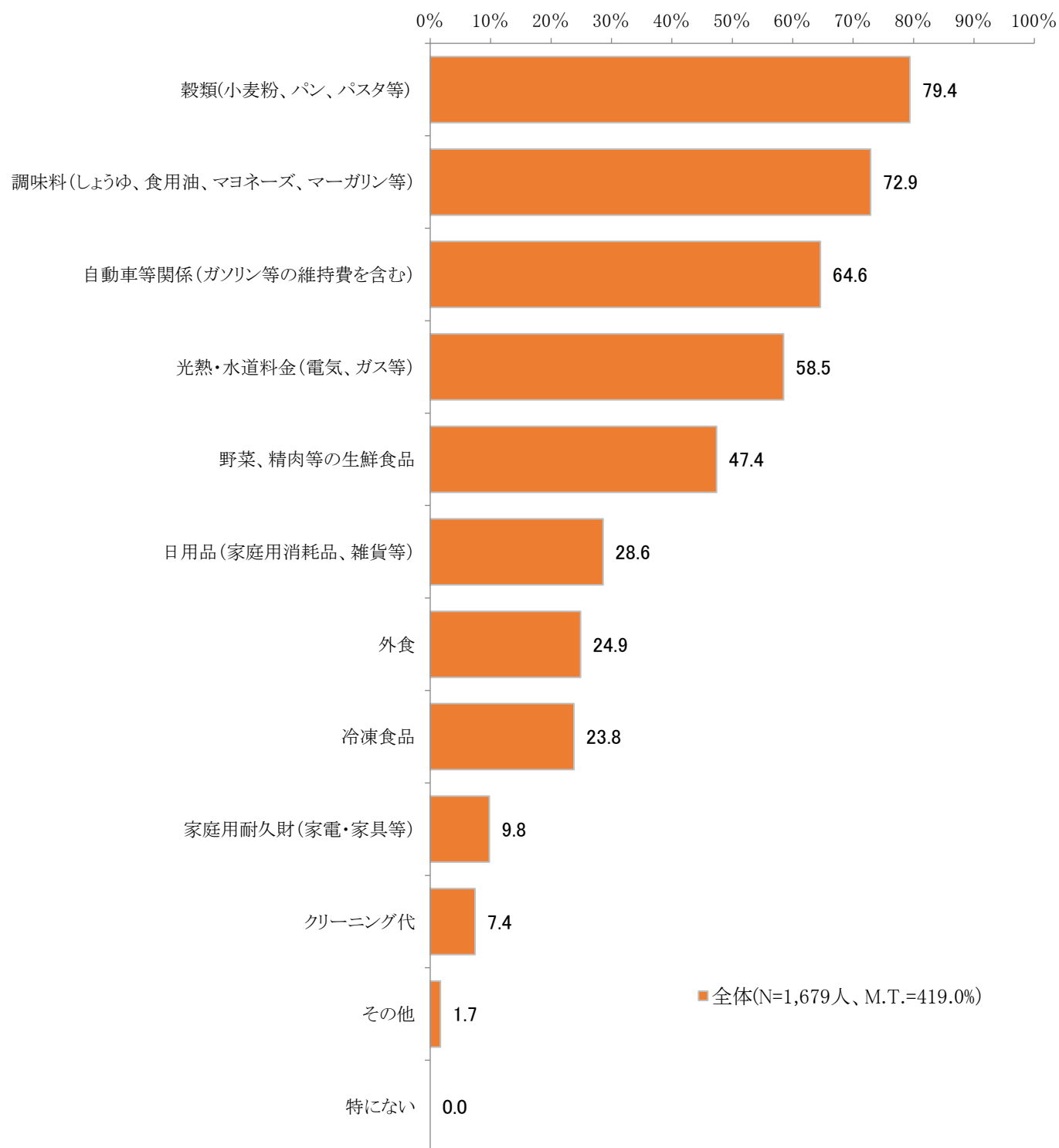
<性別>



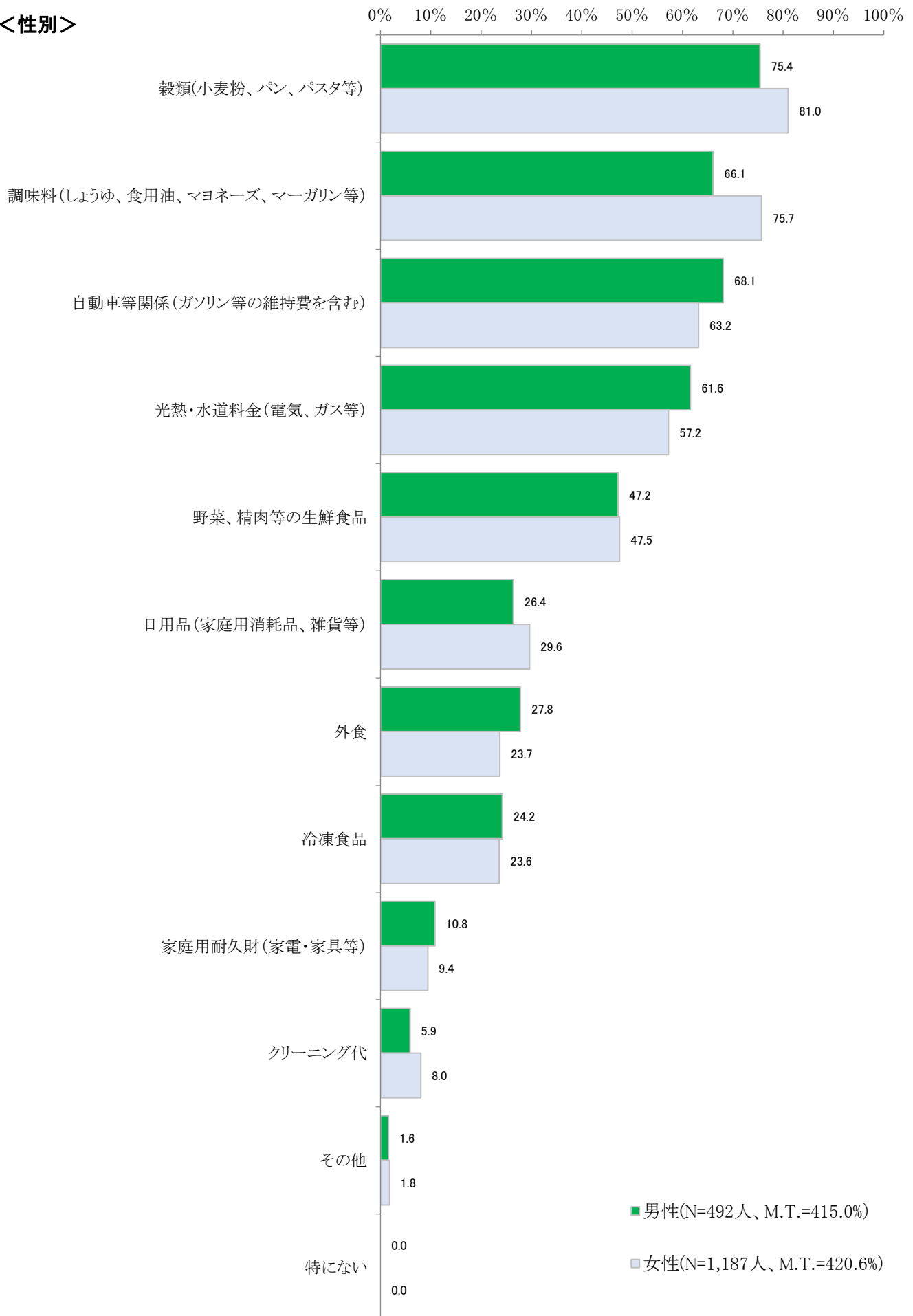
<年代別>



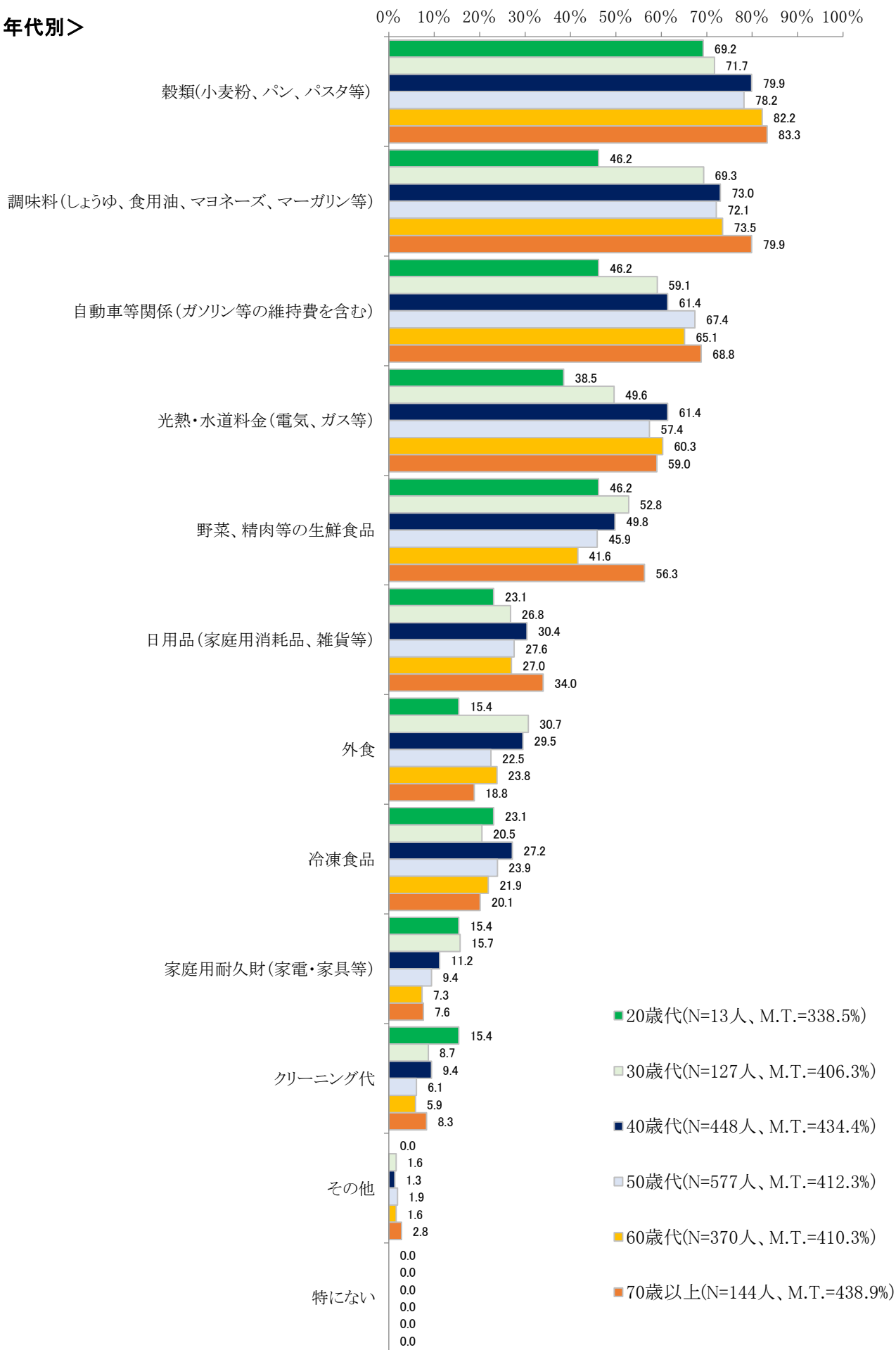
問3 (問2で「大きく上昇していると感じる」又は「少し上昇していると感じる」と回答した方がお答えください。) 価格の上昇はどのような分野に及んでいると感じますか。当てはまるものを全て選んでください。



<性別>

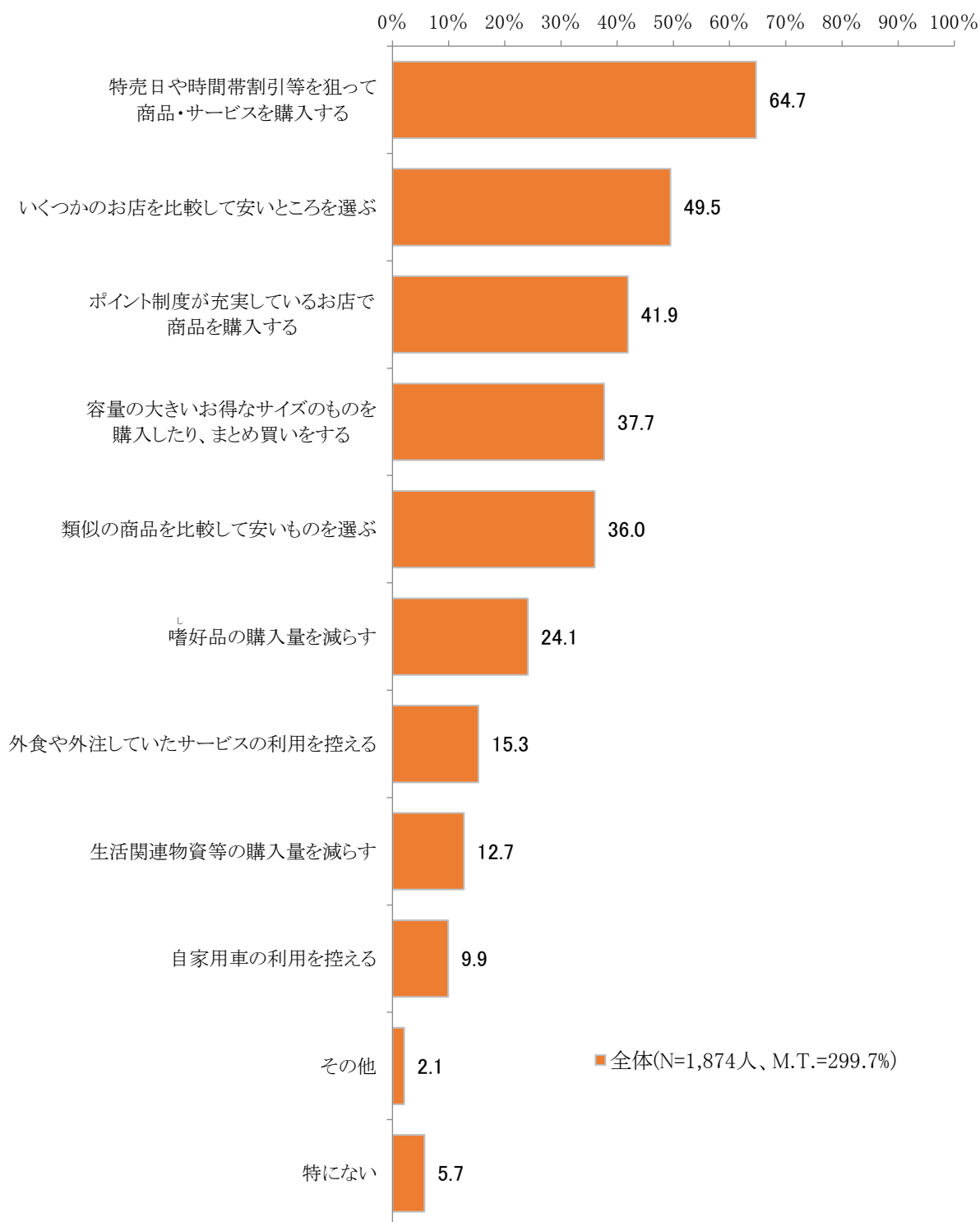


<年代別>

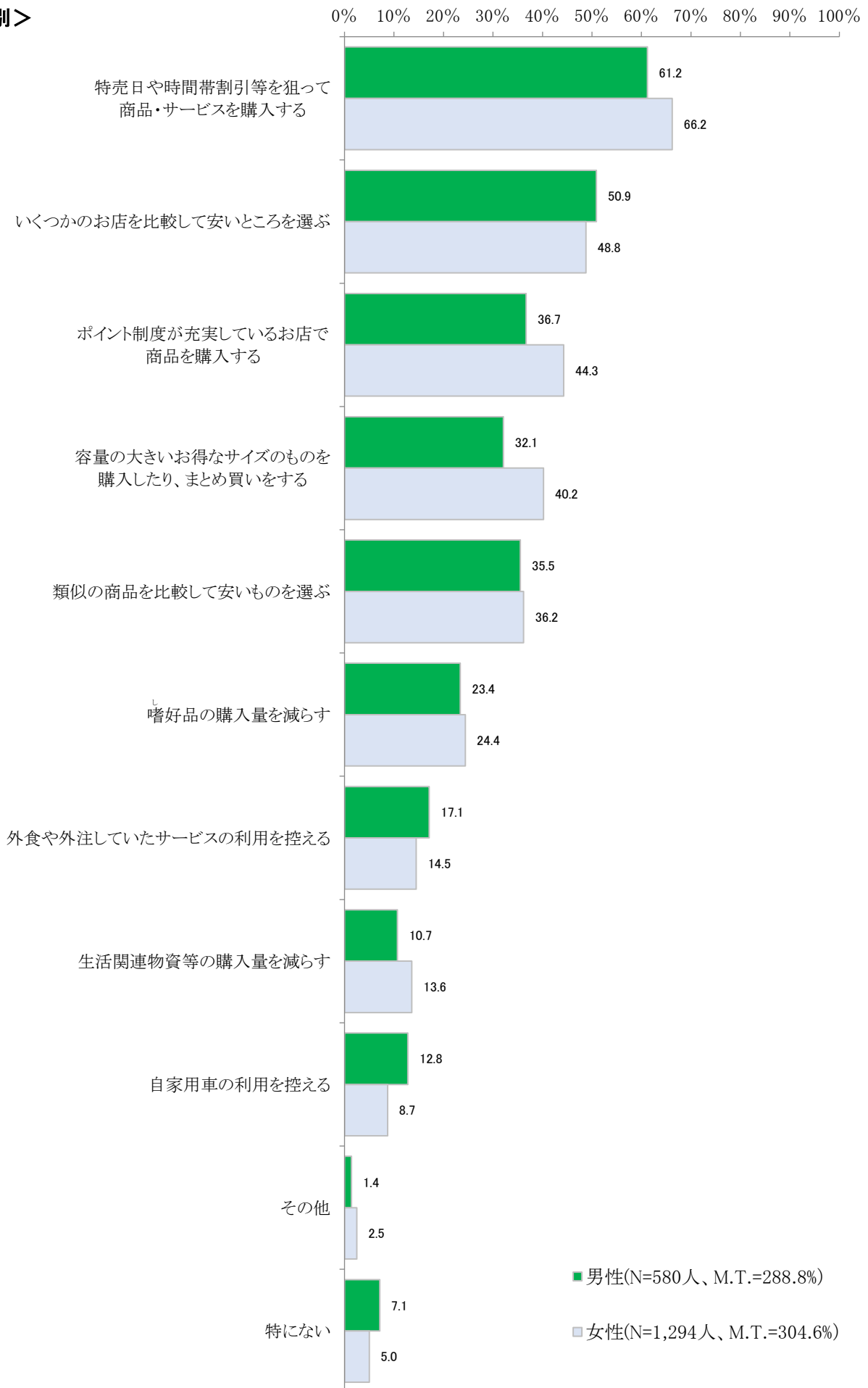




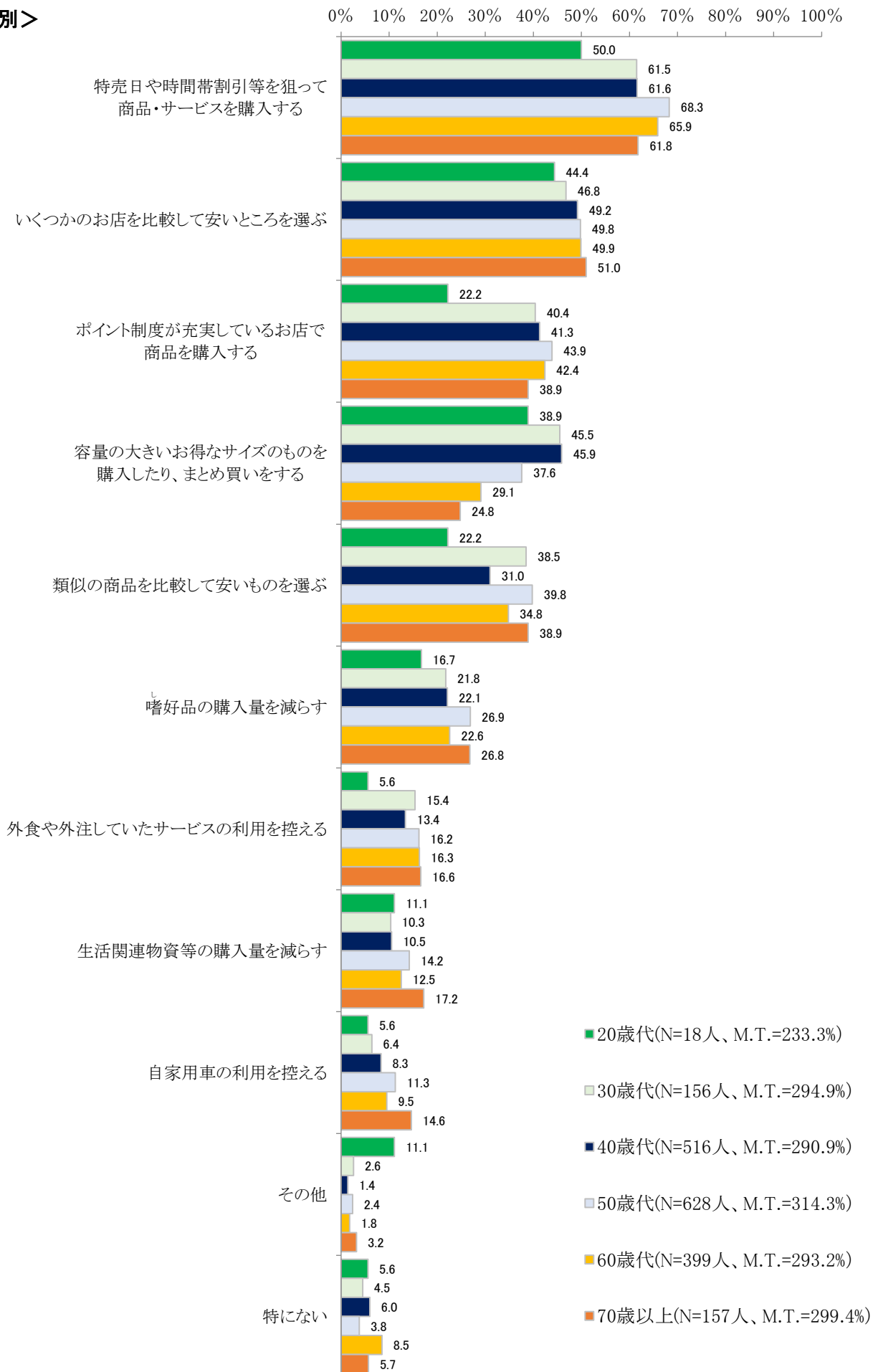
問4 買い物等をする際に特に意識していること、あるいはこれから意識しようと考えていることを全て選んでください。



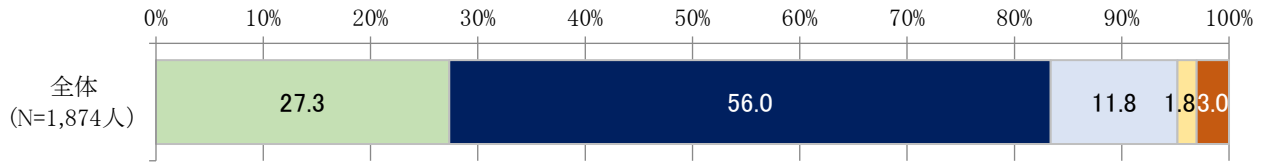
<性別>



<年代別>

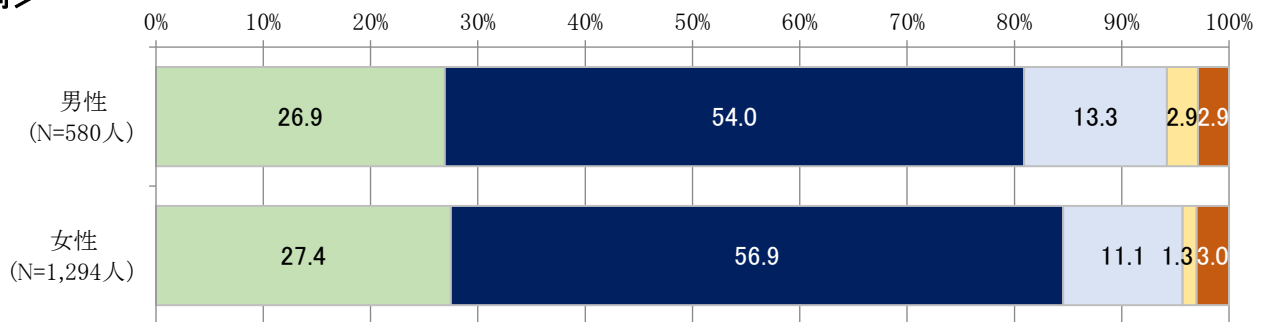


問5 食品等の生活関連物資等の値上げに対するあなたの許容度について、当てはまるものを1つ選んでください。



- 状況を踏まえると、各種のモノやサービスの値上げは仕方ないと思う
- 商品によってはある程度の値上げは仕方ないと思う
- 値上げは許容できない
- その他
- 分からない

<性別>

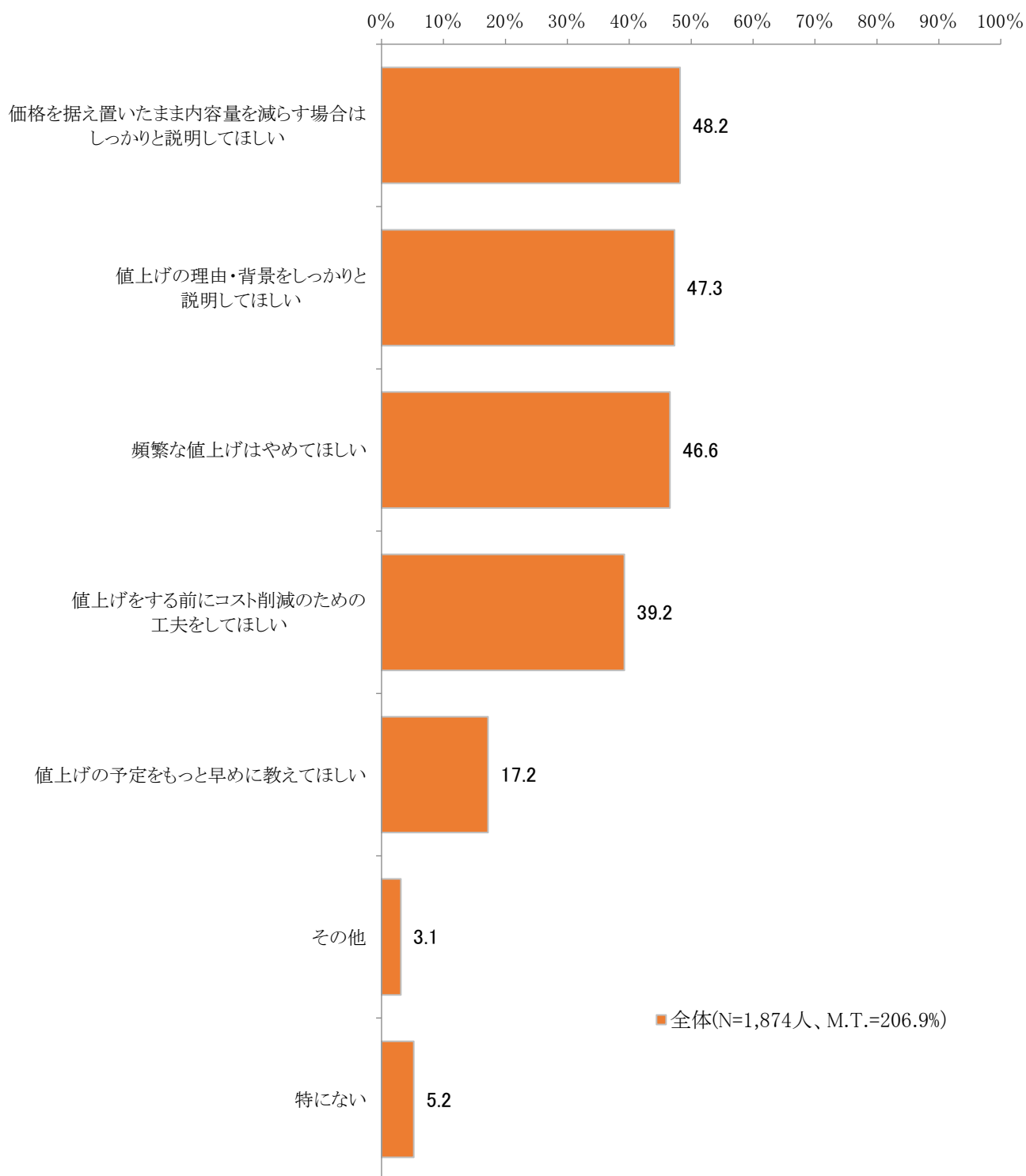


<年代別>

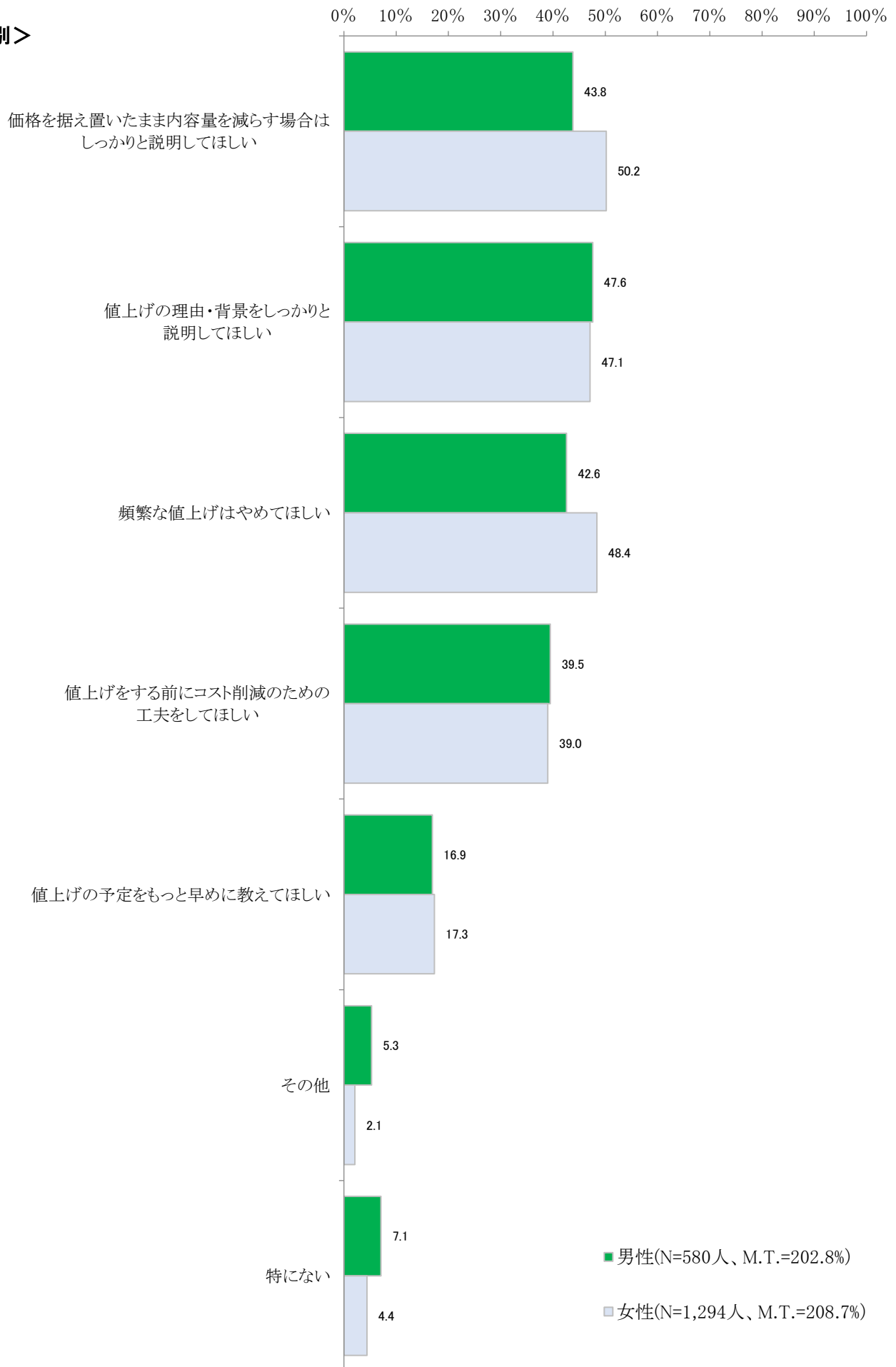


- 状況を踏まえると、各種のモノやサービスの値上げは仕方ないと思う
- 商品によってはある程度の値上げは仕方ないと思う
- 値上げは許容できない
- その他
- 分からない

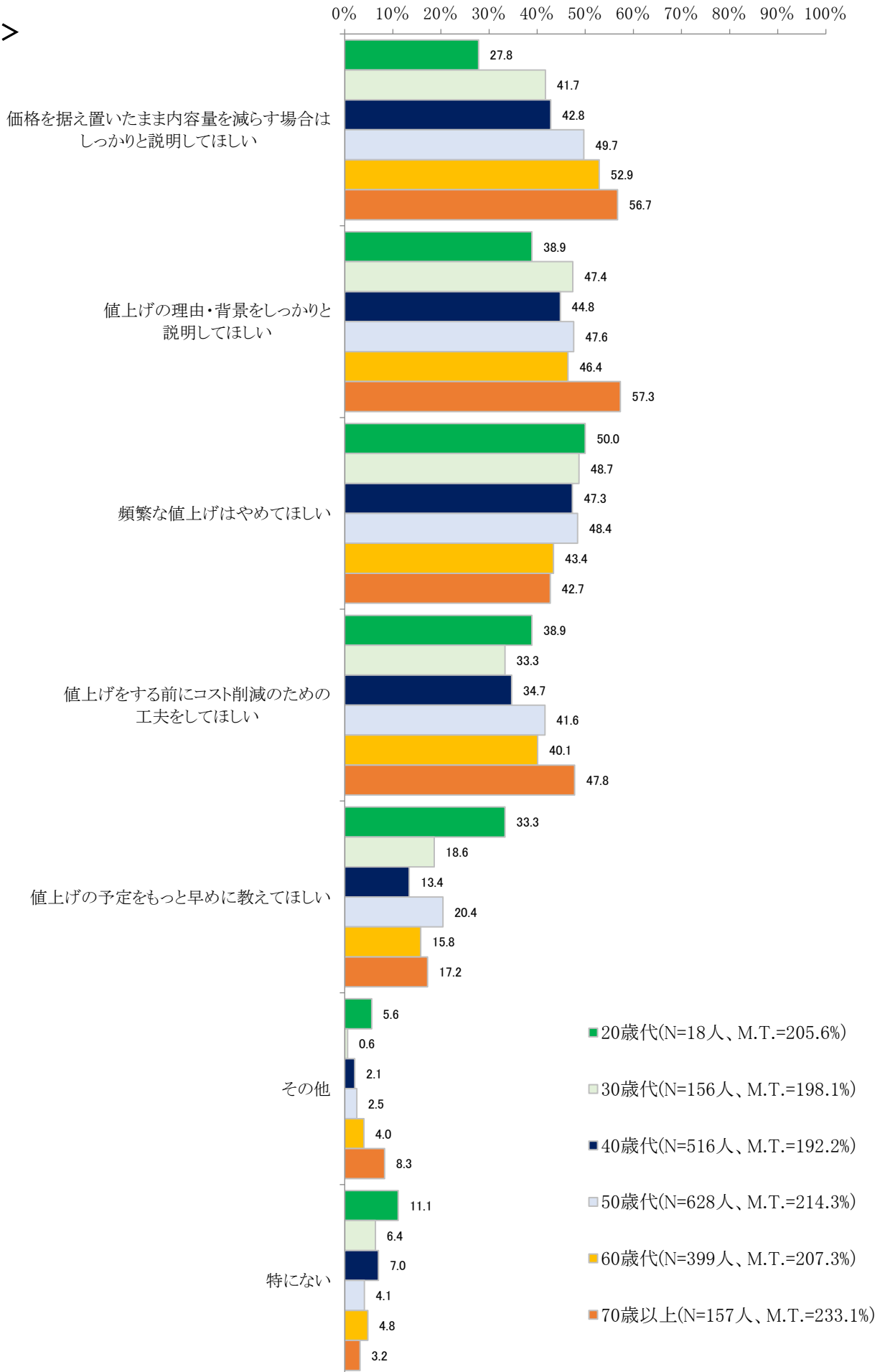
問6 食品等の生活関連物資等の値上げに対するあなたの感想について、当てはまるものを全て選んでください。



<性別>



<年代別>



## 2. 1月調査(確報)の回答者の属性

1月調査の回答者数: 1,874人

### ①性別

男性	580人 (30.9%)
女性	1,294人 (69.1%)

### ②年齢

20～29歳	18人 (1.0%)
30～39歳	156人 (8.3%)
40～49歳	516人 (27.5%)
50～59歳	628人 (33.5%)
60～69歳	399人 (21.3%)
70歳以上	157人 (8.4%)

### ③職業

正社員	528人 (28.2%)
正社員以外の被雇用者	546人 (29.1%)
会社、団体などの役員	13人 (0.7%)
自営業	75人 (4.0%)
専業主婦・主夫	521人 (27.8%)
学生	6人 (0.3%)
無職	153人 (8.2%)
その他	32人 (1.7%)

### ④居住地方

北海道	79人 (4.2%)
東北地方	126人 (6.7%)
関東地方	646人 (34.5%)
北陸甲信越地方	116人 (6.2%)
中部地方	229人 (12.2%)
近畿地方	305人 (16.3%)
中国地方	115人 (6.1%)
四国地方	63人 (3.4%)
九州・沖縄地方	195人 (10.4%)

### ⑤居住形態

単身	150人 (8.0%)
二人暮らし	679人 (36.2%)
三人暮らし	525人 (28.0%)
四人暮らし	380人 (20.3%)
五人以上	140人 (7.5%)

### ⑥世帯年収

300万円未満	271人 (14.5%)
300～500万円	522人 (27.9%)
500～700万円	472人 (25.2%)
700～1,000万円	392人 (20.9%)
1,000万円以上	216人 (11.5%)